

2001年度（平成13年度）

事業報告書

自 2001年 4月 1日
至 2002年 3月 31日

社団法人企業メセナ協議会

1. 啓発・普及事業 (3,617 千円)

1.1 セミナー、フォーラム、研究会 (2,159 千円)

| 開催日 | 会場 | テーマ・内容 | 参加者 |
|--------------------------------|-----------------|---|--------------------|
| 2001年 6月20日(水) | 第一生命 ホール | セミナー「第一生命ホール試聴会」 協力：第一生命ホール | 会員 22名 |
| 7月23日(月) | アサヒビール 本社 | 研究会「第一生命ホールとトリトン・ アーツ・ネットワーク」 講師：三木隆二郎氏（第一生命） | 会員 20名 |
| 9月21日(金) //22日(土) <1泊2日> | 湘南国際村 研修センター | 葉山フォーラム 2001 「本音で語る！おいしいメセナ」 [第1日] ○基調講演 講師：福川伸次理事 ○パネルディスカッション 「企業メセナの現状と意義」 加藤丈夫氏（富士電機会長）/ 福原義春会長・理事長/ 福川伸次理事/ 司会：島田京子氏（日産自動車） ○全体会議 ○交流会 [第2日] ○分科会 ①「初めてのメセナ・よろず相談」 ②「企業メセナとNPO」 ③「社内理解と社員参加」 ○分科会報告と意見交換 | 会員及び 非会員 35名 |
| 11月30日(金) | 東京国際 フォーラム | 緊急研究会 「文化芸術振興基本法って何ですか？」 講師：小林真理氏（静岡文化芸術大学 文化政策学部助教授） | 会員 28名 |
| 2002年 2月8日(金) | 東京国立 近代美術館 | セミナー（見学会） 「新装なった東京国立近代美術館」 （協力：東京国立近代美術館） | 会員 40名 |
| 2月28日(木) | アサヒビール 本社 | 研究会「美術館の独立法人化と企業メセナ」 講師：蔵屋美香氏（東京国立近代美術館） 山本育夫氏（『DOME』編集長） | 会員 25名 |

1.2 全国メセナ組織との交流 (142 千円)

全国メセナネットワーク (加盟 16 団体) の第 3 回全国会議が 2001 年 9 月 7 日 (金)・8 日 (土)、横浜市にてネットワーク加盟団体関係者、各地の自治体関係者および地元市民など約 90 名の出席をえて、次の内容で開催されました。

なお、当協議会からは福原会長・理事長、出口専務理事および会員企業関係者 2 名、事務局 3 名が出席しました。

| | |
|------------------------|---|
| <p>9 月 7 日 (金)</p> | <p>全体会議</p> <p>○来賓挨拶 高秀秀信・横浜市長</p> <p>○基調講演「地域と文化」 講師 企業メセナ協議会 福原義春会長・理事長</p> <p>○事例発表「神戸にみる芸術文化支援のパートナーシップ」 講師 神戸・キャップハウス代表 杉山知子氏</p> <p>○パネルディスカッション 「芸術文化支援における官民パートナーシップの可能性」 パネリスト 杉山知子氏 (キャップハウス代表) 六川勝仁氏 (㈱アート宝飾社長) 芳賀宏江氏 (横浜市市民局文化振興課長) 堀内克一氏 (山梨メセナ協会専務理事) 西田由紀子氏 (よこはま市民メセナ協会会長) (司会 熊倉純子 企業メセナ協議会事務局次長)</p> <p>○情報交流会</p> |
| <p>9 月 8 日 (土)</p> | <p>総会</p> <p>全体会議</p> <p>○加盟団体活動事例報告</p> <p>○意見交換会</p> <p>※解散後、横浜トリエンナーレ 2001 を自由見学</p> |

2. 情報集配・仲介事業 (28,371 千円)

2.1 情報紙の発行(8,238 千円)

ニュースレター『メセナ note』13 号～18 号を次の内容で発行しました。

| 号 | 解説・論説 | トップインタビュー | いまどきのアート | レポートほか |
|------------|---|--|--|---|
| 13号 5月 | 『旗手交代の弁』 (根本長兵衛 ・前専務理事) | チャールズ・バー グマン氏 (ポロック・クラ ズナー財団会長) | 「神戸アフターAM ワークショップ ～芸術の基礎体力 自主トレ編」 | 国際文化セミナー 「アートサポートの創意・ 工夫」から (協議会企画協力事業) |
| 14号 7月 | 『われらいずこへ 到るや』 (出口正之専務理事) | ジョン・ウィラー 氏(ジャパン・ソサ エティー副理事長) | りんご企画の試み ～顧客が料金を決める 新システム | NPO を設立しての自主企 画公演 三木隆二郎氏(第一生命 企画第一部部長) |
| 15号 9月 | 創造力が社会を救う ～芸術文化発展のため の提言について (加藤種男研究部会長) | (新会員紹介) ハーヴェイ・ サイフター氏 (オフェス室内管弦 楽団 E.ディレクター) | <特別記事> メセナ大賞 2001 「メセナ note 読者賞」 の募集告知 | 「社会とダンスの接着剤 をめざして」 佐東範一氏 (ジャパンコンテンポラリーダンス ネットワーク代表) |
| 16号 11月 | 社内アートマネージャ ー、ますます奮闘中。 ～今年度のメセナ活動 実態調査を終えて (岡部修二調査部会長) | (葉山フォーラム 2001 ゲストスピーカー) 加藤丈夫氏 (富士電機株式会社 取締役会長) | ○葉山フォーラム 2001「本音で語る！ おいしいメセナ」紹介 ○大賞受賞活動紹介 | 別冊 「メセナレポート 2001」 メセナ実態調査結果 発表 |
| 17号 1月 | 多様化するメセナの カタチ ーメセナ大賞 2001 贈呈 式に寄せて」 (加藤恒夫大賞部会長) | (メセナ大賞 2001 受賞企業紹介) 村瀬清司氏 (安田火災海上保険 常務執行役員) | いまどきのアート 「伝統工芸」の世界 に新風が吹いた！ | ドキュメント 2000 アート の境目が終われば文化芸術 振興基本法が始まる 村田真氏(美術評論家) |
| 18号 3月 | 南アフリカの胎動 ー経済に参画する黒人 社会とメセナ活動 (事務局・熊倉純子) | (メセナ大賞 2001 受賞企業紹介) 渡辺孝之氏 (株式会社駒形 どぜう 当主) | いまどきのアート 五箇山和紙がアート になる 井出創太郎氏 (銅板画家) | 文化芸術振興基本法を めぐる 2つの動向 友岡邦之氏 (都留文科大学非常勤講師) |

※平均発行部数：5000部

※上記のほか 10月に増刊号「あなたが選ぶメセナ賞」を発行。

2.2 情報システムの活用 (3,406千円)

(1) ホームページ

新たに「企業メセナ情報」「サイトマップ」などのページを新設したほか、メセナ活動データベース「メセナビ」を2001年11月1日から稼働させ、企業メセナの活動状況がネット上で手軽に閲覧できるようにサービスを開始しました。

2.3 コーディネート事業 (9,139 千円)

会員企業や自治体からの要請を受けて、次のコーディネート事業を実施しました。

| 企業・団体名 | 業 務 内 容 |
|--------|-------------------------------|
| トヨタ自動車 | トヨタ・アートマネジメント講座企画・運営 |
| 山口市 | 山口情報芸術センター・イベント企画 |
| アサヒビール | アサヒビール アート・コラボレーション企画・制作 |
| 国際交流基金 | 国内アーティスト・イン・レジデンス調査・ダイレクトリー制作 |

3. 調査研究事業 (11,096 千円)

3.1 『メセナ活動実態調査』の実施 (4,826 千円)

2001年3月～5月、調査部会の協力のもとに2000年度における企業メセナの活動実態調査を3925社を対象に実施し、592社から回答を得ました。

このうち2000年度にメセナを実施した企業は347社で総活動件数は2288件、1社平均6.6件でした。

2年連続で金額回答のあった企業の1社あたり活動費は前年度より9.9%減の9517万円になったものの、厳しい経済情勢の下において2000年度の企業メセナは健闘したと調査部会では評価しています。

なお、本調査の結果については、「メセナリポート2001」としてまとめ、『メセナnote16号』(11月発行)、協議会ホームページなどで紹介したほか、10月31日には記者発表を行いました。

3.2 研究活動 (1,073 千円)

(1) 協議会提言

協議会設立10周年を機会に「協議会提言」を研究部会でまとめ、2001年7月上旬に会員をはじめ文化庁やマスコミ、文化研究者など関係各方面に配布しました。

(2) メセナパートナー計画

上記の提言にもとづき、研究部会においてそのアクションプランとなる「メセナpARTner計画」の立案作業を推進し、2001年10月31日に開催した記者発表会において案内しました。

4. 顕彰事業 (13,235 千円)

4.1 メセナ大賞 (9,534 千円)

(1) 「メセナ大賞 2001」には 82 団体・98 件の応募があり、大賞部会の協力を得てこれらの調査・取材を行い、2001 年 9 月 27 日 (木) 開催の審査委員会にはかり、下記の企業及び団体への授賞を決定、同 10 月 31 日に記者発表を行いました。

また、本賞の贈呈式は同 12 月 6 日 (木)、東京・青山のスパイラルホールにおいて、文化庁長官をはじめ関係者約 200 名の出席をえて実施しました。

- メセナ大賞 安田火災海上保険株式会社
安田火災人形劇場「ひまわりホール」の活動
- 国際交流賞 (財) アサヒビール芸術文化財団
芸術系外国人留学生への支援・交流活動
- 企業文化賞 株式会社 INAX
「世界のタイル博物館」等の運営ならびに陶芸作家への支援
- 人材育成賞 花王株式会社
美術館連絡協議会への支援
- アイデア賞 カスミグループ
「<わたしの企画>応援します！」の実施
- 地域文化賞 株式会社駒形とぜう
「江戸文化道場」等の開催
※本件は「メセナ note 読者賞」も受賞
- バリアフリー賞 トヨタ自動車株式会社
「トヨタ・エイブルアート・フォーラム」の実施
- まちづくり賞 (社) 浜松青年会議所
浜松交響楽団の設立と運営

[2001 年度審査委員]

- | | |
|------------------------|----------------|
| 池田逸子氏 (音楽評論家) | 河合隼雄氏 (臨床心理学者) |
| 富永壮彦氏 (音楽評論家) | 中沢けい氏 (作家) |
| ピーター・バラカン氏 (ブロードキャスター) | |
| 平田オリザ氏 (劇作家・演出家) | 福田美蘭氏 (画家) |
| 本江邦夫氏 (多摩美術大学教授) | 福原義春会長・理事長 |

5. 国際交流事業 (1,745 千円)

5.1 各国のメセナ組織との交流

(1) オーストラリア・ビジネス・アーツ財団(Abaf)との交流

2001年8月2日(木)、シドニーで開かれた同財団の全国評議員会議とビジネス・アートパートナーシップ賞贈呈イベントに会員企業および事務局から合計2名が出席し、交流をはかりました。

(2) 国際メセナネットワーク会議への出席

2001年10月16日(火)～18日(木)、南アフリカ共和国のヨハネスブルグで9ヶ国のメセナ組織関係者出席のもとに開催されたネットワーク会議に事務局から1名が出席し、情報交換を行いました。

6. 助成事業(認定業務費 10,752 千円)

本年度に当協議会の助成認定制度を利用して行われた芸術活動への寄付は949件、5億7,361万円で、前年度実績(879件、5億3,305万円)に比べ、件数、金額ともに上回りました。

なお、文化庁から2002年1月8日付で、当協議会は特定公益増進法人の再認定を受けました。(有効期間2年間)

(金額の単位：万円)

| 年度 | 1994 | 1995 | 1996 | 1997 | 1998 | 1999 | 2000 | 2001 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 申請件数 | 103 | 92 | 125 | 121 | 121 | 172 | 176 | 151 |
| 認定件数 | 83 | 80 | 109 | 115 | 111 | 155 | 165 | 146 |
| 寄付件数 | 159 | 430 | 661 | 769 | 697 | 752 | 879 | 949 |
| 金額 | 19,705 | 31,102 | 55,590 | 86,555 | 44,281 | 51,566 | 53,305 | 57,361 |
| 平均金額 | 123 | 72 | 84 | 113 | 64 | 68 | 60 | 60 |

7. 特別事業(41,947 千円)

2002年1月、文化庁から「文化芸術の振興を目的とするインターメディアリー機能に関する調査・研究」の委嘱を受け、ニッセイ基礎研究所をはじめ外部専門機関の協力のもとに特別事業として推進しました。

(1) 調査の目的

文化芸術振興基本法の施行をふまえ、文化芸術振興に重要な役割を果たすと思われる公的財団、民間財団などの助成機関や支援団体等のインターメディアリー機能の現状と課題を調査・研究し、これらの充実強化をはかる方策について検討する上での参考とする。

(2) 概要

- ①わが国の公的財団及び民間財団のうち、とくに文化芸術を目的とした助成を行っている機関(サンプル数約 1100)及びこれらの機関からの支援を受ける側の芸術家や団体(同約 2500)に対するアンケート調査。
- ②海外における税制を中心とした文化支援政策の状況及び企業メセナ組織等の実態などについての資料やデータの収集を中心とする調査。
- ③これらの調査結果をもとに今後の文化政策のあり方について検討を加え、文化庁等に対する提言のまとめ。

8. その他

2001 年度に事務局で対応した主な協力依頼は下記のとおりです。

| 受付 | 依頼団体 | 区分 | 依頼内容 |
|-------|--------------------|------|--------------------------|
| 4/6 | (財)地域創造 | 講師派遣 | ステージラボ(自治体職員研修会) |
| 4/20 | 茨城県 | 就任 | アーカスプロジェクト選考委員 |
| 4/27 | 東京国立近代美術館 | 就任 | 美術・工芸部会評議員 |
| 5/1 | (社)日本芸能実演家団体協議会 | 執筆 | 機関紙『巻頭言』原稿 |
| 6/19 | (財)地域創造 | 出演 | 舞台芸術・芸能見本市 2001 シホ°シウム |
| // | // | 出演 | 第 6 回芸術見本市シホ°シウム |
| 6/20 | 国際芸術フェスティバル準備会 | 出演 | 2005 国際芸術フェスティバル記念シホ°シウム |
| 10/12 | (特)トリトン・アーツ・ネットワーク | 出演 | 第一生命ホールオープニング記念シホ°シウム |
| 12/20 | 愛媛県文化振興財団 | 講師派遣 | 地域文化振興人材育成研修会 |
| 2/14 | 京都橘女子大学 | 執筆 | 機関紙原稿 |

以上

2001年度助成事業報告 (01.4~02.3末)

1. 認定件数

| | 01年度 | | 00年度 | | 99年度 | | 98年度 | | 97年度 | |
|---------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 認定件数 | 申請件数 |
| 第1回(01.5.25) | 29 | 30 | 23 | 23 | 25 | 26 | 22 | 24 | 21 | 21 |
| 第2回(01.7.26) | 25 | 25 | 40 | 43 | 33 | 37 | 24 | 26 | 25 | 27 |
| 第3回(01.10.4) | 20 | 22 | 24 | 26 | 17 | 21 | 12 | 12 | 12 | 13 |
| 第4回(01.11.30) | 16 | 18 | 16 | 17 | 19 | 20 | 17 | 18 | 11 | 11 |
| 第5回(01.2.4) | 22 | 22 | 32 | 36 | 23 | 26 | 19 | 23 | 18 | 19 |
| 第6回(01.3.22) | 34 | 34 | 30 | 31 | 38 | 42 | 17 | 18 | 28 | 30 |
| 計 | 146件 | 151件 | 165件 | 176件 | 155件 | 172件 | 111件 | 121件 | 115件 | 121件 |

2. 認定されたもののジャンル別内訳

| | 演劇 | 音楽 | 美術 | 舞踊 | 映画 | その他 |
|-------------|----|----|----|----|----|-----|
| 01年度(1回~6回) | 26 | 41 | 61 | 8 | 7 | 3 |
| 00年度(1回~6回) | 34 | 42 | 57 | 20 | 8 | 4 |
| 99年度(1回~6回) | 29 | 42 | 58 | 17 | 8 | 1 |
| 98年度(1回~6回) | 23 | 34 | 29 | 14 | 7 | 4 |
| 97年度(1回~6回) | 25 | 41 | 30 | 8 | 6 | 5 |
| 96年度(1回~6回) | 28 | 33 | 25 | 9 | 6 | 8 |
| 95年度(1回~6回) | 24 | 21 | 16 | 10 | 3 | 6 |
| 94年度(1回~6回) | 24 | 23 | 16 | 9 | 5 | 6 |

3. 寄付金額

| | 寄付件数 | 寄付金額 | 1件当たり |
|----------------|------|---------|-------|
| 01.4~02.3(1年間) | 949件 | 57,361万 | 60万 |
| 00.4~01.3(1年間) | 879件 | 53,305万 | 60万 |
| 99.4~00.3(1年間) | 752件 | 51,566万 | 68万 |
| 98.4~99.3(1年間) | 697件 | 44,231万 | 64万 |
| 97.4~98.3(1年間) | 769件 | 86,555万 | 113万 |
| 96.4~97.3(1年間) | 661件 | 55,590万 | 84万 |
| 95.4~96.3(1年間) | 430件 | 31,102万 | 72万 |
| 94.4~95.3(1年間) | 159件 | 19,705万 | 123万 |

4. 寄付金額内訳

| | 01年度(1年間) | | 00年度(1年間) | | 99年度(1年間) | | 98年度(1年間) | | 97年度(1年間) | |
|----------------|-----------|------|-----------|------|-----------|------|-----------|------|-----------|------|
| 1000万以上 | 8 | 1% | 9 | 1% | 8 | 1% | 7 | 1% | 14 | 2% |
| 500万 " 1000万未満 | 16 | 2% | 13 | 1% | 15 | 2% | 12 | 2% | 14 | 2% |
| 300万 " 500万未満 | 21 | 2% | 15 | 2% | 15 | 2% | 10 | 1% | 19 | 2% |
| 200万 " 300万未満 | 27 | 3% | 21 | 2% | 22 | 3% | 15 | 2% | 22 | 3% |
| 100万 " 200万未満 | 79 | 8% | 75 | 9% | 80 | 11% | 79 | 11% | 97 | 13% |
| 50万 " 100万未満 | 109 | 11% | 117 | 13% | 91 | 12% | 78 | 11% | 153 | 20% |
| 30万 " 50万未満 | 107 | 11% | 100 | 11% | 103 | 14% | 70 | 10% | 65 | 8% |
| 10万 " 30万未満 | 488 | 51% | 454 | 52% | 383 | 51% | 388 | 56% | 322 | 42% |
| 10万未満 | 94 | 10% | 75 | 9% | 35 | 5% | 38 | 5% | 63 | 8% |
| 計 | 949件 | 100% | 879件 | 100% | 752件 | 100% | 697件 | 100% | 769件 | 100% |

2001 年度企業メセナ協議会幹事会メンバー

(敬称略)

| | | |
|-------------|-----------------------|-------|
| 朝日新聞社 | 文化企画局文化メセナ部長 | 大井屋健治 |
| アサヒビール | 環境社会貢献部 担当部長 | 加藤種男 |
| 朝日放送 | 事業局長 | 伊東龍平 |
| 大阪ガス | 東京支社長 | 佐川忠市 |
| 鹿島建設 | 広報室長 | 横尾 優 |
| 関西電力 | 東京支社長 | 阪本隆夫 |
| 京セラ | 東京本部企業広報課責任者 | 尾堂隆久 |
| サントリー | 文化事業部課長 | 松原恵三 |
| JTB | 総務部総務担当課長 | 小川昌二 |
| 資生堂 | 秘書室長 | 掛巢喜暁 |
| 資生堂 | 企業文化部長 | 高辻ひろみ |
| 清水建設 | システム企画部長 | 高木隼二 |
| セゾン文化財団 | 常務理事 | 八木忠栄 |
| ソニー | 渉外部門社会貢献室長 | 福田信義 |
| 第一勧業銀行 | 経営企画部広報チームリーダー | 関根正裕 |
| 第一生命 | 広報部社会文化事業室長 | 市川哲夫 |
| 大日本印刷 | ICC本部長 | 加藤恒夫 |
| 竹中工務店 | 広報部長 | 勝山淳一郎 |
| 電通 | コーポレートコミュニケーション業務推進部長 | 檜山三郎 |
| 東京電力 | 総務部マネージャー | 木村公一 |
| トヨタ自動車 | 広報部社会文化室長 担当部長 | 岡部修二 |
| 日本アイ・ビー・エム | 社会貢献課長 | 中島和枝 |
| 日本経済新聞社 | 文化事業局長 | 木原徹三 |
| 日本製紙 | 総務部広報室長 | 位田良男 |
| 日本生命 | 広報部社会公共課長 | 大森一正 |
| 日本電気 | 社会貢献部長 | 鈴木 均 |
| 富士銀行 | 経営企画部社会文化事業室調査役 | 北山邦彦 |
| 富士ゼロックス | 総務部社会貢献推進室長 | 河辺尚之 |
| 松下電器 | 社会文化グループ 東京リーダー | 森 信之 |
| 安田火災 | 広報部文化事業室長 | 深町政則 |
| ワコール | 社長室秘書課課長 | 朝子正三 |
| ワコールアートセンター | 取締役広報部部長 | 尾崎宣之 |

2001年度 企業メセナ協議会部会メンバー

(敬称略 ○印部会長)

[調査部会]

○岡部修二 (トヨタ自動車)

市川哲夫 (第一生命)

土田芳孝 (朝日新聞社)

河辺尚之 (富士ゼロックス)

中島康夫 (電通)

[研究部会]

○加藤種男 (アサヒビール)

小野みゆき (日立製作所)

島田京子 (日産自動車)

森 光平 (資生堂)

尾崎宣之 (ワコール)

佐藤正明 (ソニー)

横尾浩輝 (安田火災)

[大賞部会]

○加藤恒夫 (大日本印刷)

大森一正 (日本生命)

西野正浩 (資生堂)

横尾 優 (鹿島建設)

石綿祐子 (社会工学研究所)

西田克彦 (日本電気)

大和 滋 (芸団協)

2001年度協議会の主な会議・行事一覧

| 月 | 日 | 内 容 | 月 | 日 | 内 容 |
|---|-------|--------------------|------|---------------------|--------------------|
| 4 | 11(木) | リトアニア文化大臣来局 | 10 | 4(木) | 助成選考委員会③ |
| | 13(金) | 研究部会① | | 10(水) | メセナnote増刊号発行 |
| | | 16-18 | | 国際ネットワーク会議(ヨハネスブルグ) | |
| | | 16(火) | | 大賞部会⑤ | |
| 5 | 10(木) | 幹事会① | 11 | 31(水) | 記者発表会 |
| | 13(金) | メセナnote発行(13号) | | 2(金) | 幹事会③(京都) |
| | 25(金) | 助成選考委員会① | | 15(木) | メセナnote発行(16号) |
| | | 30(金) | | 研究会② | |
| 6 | 14(木) | 幹事会② | 12 | " | 助成選考委員会④ |
| | " | 大賞部会① | | 6(木) | メセナ大賞贈呈式 |
| | 19(火) | 研究部会② | | 10(月) | 第35回理事会／第5回評議員会 |
| | 20(水) | セミナー①(第一生命ホール視察) | | 27(月) | 仕事納め |
| | 28(木) | 調査部会① | 28-6 | 年末年始休暇 | |
| 7 | 5(木) | 第34回理事会／第23回総会 | 2002 | 7(月) | 仕事始め |
| | 16(月) | メセナnote発行(14号) | | 1 | 8(火) |
| | 18(水) | 大賞部会② | 1 | 15(火) | メセナnote発行(17号) |
| | 19(木) | 大賞部会③ | | 16(水) | 幹事会④(賀詞交歓会) |
| | 23(月) | 研究会① | | | |
| | 26(木) | 助成選考委員会② | | | |
| 8 | 2(木) | 豪州メセナアワード贈呈式(シドニー) | 2 | 4(月) | 助成選考委員会⑤ |
| | 10~19 | 夏季休暇 | | 5(金) | 若手担当者交流会 |
| | 23(木) | 大賞部会④ | | 8(金) | セミナー②(東京国立近代美術館視察) |
| | | | | 13(木) | 大賞部会⑥ |
| | | 27(水) | | 調査部会③ | |
| | | 28(木) | | 研究会③ | |
| 9 | 7~8 | 全国メセナネットワーク会議(横浜) | 3 | " | 研究部会④ |
| | 13(木) | 調査部会② | | 12(火) | 調査部会④ |
| | 14(金) | メセナnote発行(15号) | | 15(金) | メセナnote発行(18号) |
| | 18(火) | 研究部会③ | | 22(金) | 助成選考委員会⑥ |
| | 21~22 | 葉山フォーラム | | 29(金) | 第36回理事会／第24回総会 |
| | 27(木) | メセナ大賞審査会 | | | |